

平成31年度 佐賀大学推薦入試Ⅰ学生募集要項 (インターネットによる出願受付)

1 アドミッション・ポリシー

本学ホームページ [「受験生の方へ > 推薦入試」](#) からアドミッション・ポリシーを必ずご理解いただいた上で本募集要項をご覧くださいませよう願いたします。

2 出願に必要な書類

出願に必要な書類(推薦書, 自己推薦書, 志望理由書, 特色加点申請書等)は本学ホームページ [「受験生の方へ > 推薦入試」](#) より所定の様式をダウンロードの上, ご利用ください。

3 理工学部及び農学部の改組について

佐賀大学では「地域創生の中核となる人材」を育成するため, 平成31年4月に理工学部及び農学部の改組を行います。

(1) 理工学部

1) コース配属について

理工学部では, これまでの7学科体制を1学科体制とし, 12の専門コースを設けています。まず1年次に学部共通科目や幅広い分野の大学教育に触れながら, 自分の適性や関心などに基つき2年次にコース配属を行います。

本募集要項の推薦入試を含む特別入試においては, 志望するコース及び学びたいことが明確である生徒を対象として, 分野別入試を行い, 分野別入試により入学した学生については, 原則として希望分野内のコースへの配属となります。一般入試では理工学科として募集する大括り入試を実施しますので, 2年次にコース配属します。

2) コース紹介

【数理分野】

○数理サイエンスコース

代数・幾何・解析などの数学の修得を基に, キャリアパスを想定した確率・統計を学んで, 教職・情報技術・金融・保険などの分野での活躍を目指します。

【情報分野】

○知能情報システム工学コース

情報処理の基礎技術を確実にマスターし, そのうえに人工知能, データサイエンスなどのコンピュータを高度に利用する分野での活躍を目指します。

○情報ネットワーク工学コース

情報処理の基礎技術を確実にマスターし, そのうえにネットワーク, ソフトウェアなどの高度基盤技術の開発とシステム実現での活躍を目指します。

【化学分野】

○生命化学コース

化学の基本となる無機化学, 有機化学, 物理化学, 分析化学を学び, 化学者として化学, 製菓, 食品などの分野での活躍を目指します。化学分野では生命化学コースのみ教員免許を取得することができます。

○応用化学コース

材料化学を核とし, 化学と工業の融合を進め, 材料開発や化学工業に強い化学技術者として有機・無機工業化学などの分野での活躍を目指します。

【物理学分野】

○物理学コース

科学技術を支える物理学を広範囲に教育研究し, 中学・高校の理科教育や情報技術, 宇宙利用,

材料開発など、社会の広い分野での活躍を目指します。

【機械工学分野】

○機械エネルギー工学コース

液体、熱、海洋エネルギーなどの有効利用を中心に学び、高度エネルギー利用技術に強い機械工学技術者として幅広い分野での活躍を目指します。

○メカニカルデザインコース

様々な産業分野における開発・設計・生産とそれらのシステムで必要となる機械工学分野の専門知識を学び、モノづくりに強い技術者としての活躍を目指します。

【電気電子工学分野】

○電気エネルギー工学コース

電気エネルギーの発生・変換・利用などの基礎技術を身につけ、工業・医療・農業などの様々な産業分野で活躍できる電気技術者を目指します。

○電子デバイス工学コース

IoTを支える電子デバイス技術や情報通信を学び、ソフトウェアにも強いハードウェア技術者としてエレクトロニクスや情報通信分野での活躍を目指します。

【都市工学分野】

○都市基盤工学コース

安全・安心で豊かな地域社会の構築に貢献できる技術者として、都市基盤の整備・維持管理の分野での活躍を目指します。

○建築環境デザインコース

建築・都市空間およびその周辺環境の整備・改善・保全に対してアイデアとリアリティに富む計画設計等ができる技術者として、地域創生への貢献を目指します。

(2) 農学部

1) コース配属について

農学部ではこれまでの3学科体制を1学科体制とし、4つの専門コースを設けています。1年次に農学の基礎知識を身につけた上で、2年次から4つの教育研究コースへと進んでいきます。

本募集要項の推薦入試を含む特別入試においては、志望するコース及び学びたいことが明確である生徒を対象として、コース別入試を実施し、入学した学生については、原則として希望コースへの配属となります。一般入試では生物資源科学科として募集する大括り入試を実施しますので、2年次にコース配属します。

2) コース紹介

○生物科学コース

地域の特色である生物資源を活用した、新規農産物や新品種の開発、効率的な生産技術の開発など、生物資源の開発と応用に関する教育研究を行うと同時に、地域の新産業の育成にも貢献します。

○食資源環境科学コース

地球規模の課題ともなっている環境保全やエネルギー開発をはじめ、農業生産システムに関する先端技術の開発を行うことで、農業の技術革新を地方から先導し、地域の農業基盤を支えます。

○生命機能科学コース

実験を重視したカリキュラムにより、食品、医薬・化粧品、環境などの分野における科学技術の発展を推進する能力を備えた人を育成し、地域生物資源の活用に関する研究にも貢献します。

○国際・地域マネジメントコース

農業ビジネス戦略や地域経済の振興につながる他産業との連携の構築、健康で豊かなくらしの基盤となる地域資源や環境の保全、農山漁村コミュニティの活性化など、国際的な課題を教育研究します。

4 試験実施日程等

推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を要しない）

学 部	出願書類提出期間	試験日	合格者発表日	入学手続期間
教 育 学 部 芸 術 地 域 デ ザ イ ン 学 部 経 済 学 部 理 工 学 部 農 学 部	平成30年11月1日(木) ～ 平成30年11月8日(木)	平成30年11月30日(金)	平成30年12月10日(月)	平成31年1月21日(月) ～ 平成31年1月24日(木)
医学部看護学科		平成30年12月1日(土)		

5 募集人員及び対象となる高等学校の科

学部	学科等		募集人員	対象となる高等学校の科
教育学部	学校教育課程 幼小連携教育コース 特別支援教育専攻		5	高等学校の全科
芸術地域 デザイン学 域部	芸術地域 デザイン学 芸術表現コース 有田セラミック分野		5	高等学校の全科
経済学 部	経済学科		10	高等学校の商業系の科(商業高等学校の全科を含みます。), 情報系の科及び総合学科(注1)
			10	高等学校の普通科又はこれに準ずると本学部が認める科
	経営学科		20	高等学校の商業系の科(商業高等学校の全科を含みます。), 情報系の科及び総合学科(注1)
			10	高等学校の普通科又はこれに準ずると本学部が認める科
	経済法学科		10	高等学校の普通科又はこれに準ずると本学部が認める科
医学部	看護学科		20	高等学校の専門系の科及び総合学科(注2) 高等学校の全科(ただし, 専門系の科を除きます。)(注3)
理工学 部	理工学 科	情報分野 知能情報システム工学コース 情報ネットワークコース	2	高等学校の情報系の科及び総合学科(注4)
		化学分野 (注6) 生命化学コース 応用化学コース	2	高等学校の工業系の科及び総合学科(注4)(注5)
		機械工学 分野 機械エネルギー工学コース メカニカルデザインコース	4	高等学校の機械系の科及び総合学科(注4)

学部	学科等		募集人員	対象となる高等学校の科	
理工学部	理工学	電気電子工学分野	電気エネルギー工学コース 電子デバイス工学コース	4	高等学校の電気・電子・情報系の科及び総合学科(注4)
	学	都市工学分野	都市基盤工学コース 建築環境デザインコース		4
農学部	生物資源科学科	生物科学コース		3	高等学校の専門系の科及び総合学科(注2)
		食資源環境科学コース		2	
		生命機能科学コース		1	
合計			112		

※ 「高等学校」とは、高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設とします。

(注1) 高等学校の商業系の科、情報系の科及び総合学科については、商業系の専門教育に関する科目（「産業社会と人間」及び情報処理に関する基礎科目を含みます。）を20単位以上修得（見込みを含みます。）していること。

(注2) 高等学校の総合学科については、専門教育に関する科目（「産業社会と人間」を含みます。）を20単位以上修得（見込みを含みます。）していること。

(注3) 高等学校の総合学科については、専門教育に関する科目（「産業社会と人間」を含みます。）の修得単位数が20単位未満の者（見込みを含みます。）に限ります。

(注4) 高等学校の総合学科については、それぞれの分野に係る専門教育に関する科目（「産業社会と人間」を含みます。）を20単位以上修得（見込みを含みます。）していること。

(注5) 工業系の科については全科を対象とします。

(注6) 化学分野は入学時に各コースに配属されます。出願時に2コースの中から順位を付けて第2志望まで志望できます。

6 出願資格

推薦入試Ⅰの出願資格は、下記(1)～(3)のすべての条件を満たす者とします。

(1) 推薦要件

学部, 学科	推薦要件	
教育学部	次の①, ②のすべてに該当する者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者 ①将来、特別支援学校や小・中学校等で特別支援教育の仕事に携わる教員になることを強く志望する者 ②高等学校の調査書における評定平均値が3.8以上の者	
芸術地域デザイン学部	学業成績、人物ともに特に優れ、芸術表現や当該分野に関して興味関心がある者、又は優れた経験・知識・技術・実績及び熱意がある者。かつ、高等学校長が責任をもって推薦できる者	
経済学部	商業系の科、情報系の科及び総合学科推薦	全体の評定平均値が4.3以上の者で、人物、学力について優れ、高等学校長が責任をもって推薦できる者
	普通科又はこれに準ずると本学部が認める科推薦	社会科学にとりわけ関心があり、かつ、人物について優れ、全体の評定平均値が4.0以上の者で、高等学校長が責任をもって推薦できる者ただし、次のうちいずれかの要件を満たす者に限ります。 ①成績優秀な者（外国語については評定平均値4.3以上とします。） ②社会事象についての分析や、社会的活動等において優れた実績があり、それを裏付ける資料のある者（ただし、この実績については証明する資料を添付してください。） ③个性的で積極性に富み、高等学校長が、大学生活においてその能力を十分に発揮できると評価し、推薦に価すると思われる者

学部, 学科	推 薦 要 件
医 学 部 看 護 学 科	次の①, ②のすべてに該当し, 高等学校長が責任をもって推薦できる者 ① 学習成績が優秀で調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (Aに該当する者については, 調査書の「4. 学習成績概評」欄にAと標示し, 「9. 備考」欄にその理由を明記してください。) ② 将来, 病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持つ優れた看護職者あるいは看護学研究者として自主的な研究を積極的に進める才能を持つと期待できる者
理 工 学 部	学習成績, 人物ともに優れ, 科学技術に対する熱意と能力があると評価されて, 高等学校長が責任をもって推薦できる者
農 学 部	次の①, ②のすべてに該当し, 高等学校長が責任をもって推薦できる者 ①学習成績, 人物について優れ, 自然科学に対する熱意と能力があると評価される者 ②学習成績概評が, Aとして推薦できる者 (これに該当する者の調査書の「4. 学習成績概評」欄にAと標示し, 「9. 備考」欄にその理由を明示してください。)

※ 高等学校の専門系の科及び総合学科については, 4ページの(注1)～(注5)により, 修得単位数を確認ください。

- (2) 高等学校を平成31年3月卒業見込みの者。ただし, 経済学部及び医学部看護学科については, 平成30年4月以降に高等学校の卒業(修了)を認められた者を含みます。
- (3) 合格した場合は, 確実に入学できる者

7 高等学校からの推薦人数制限の有無

学部, 学科等	推薦人数制限の有無	
教 育 学 部	前頁「6 出願資格」の要件を満たす者であれば, 各高等学校から推薦できる人数は制限しません。	
芸 術 地 域 デ ザ イ ン 学 部		
経 済 学 部		
理 工 学 部		
医 学 部 看 護 学 科	各高等学校から推薦できる人数は, 2人以内とします。	
農 学 部 生 物 資 源 科 学 科	生 物 科 学 コ ー ス 食 資 源 環 境 科 学 コ ー ス	対象となる各高等学校の全日制, 定時制及び通信制の各課程から各コースに対して推薦できる人数は, 2人以内とします。
	生 命 機 能 科 学 コ ー ス	対象となる各高等学校の全日制, 定時制及び通信制の各課程から推薦できる人数は, 1人とします。

8 出願手続

- (1) 出願完了には, 下記①～③の全ての手続きが必要です。いずれか一つでも定められた期間内に完了できていない場合, 願書が受理できません。

① インターネットによる出願情報登録 (登録にはEメールアドレスが必要です。)

Eメールアドレスを出願者本人が保有していない場合は, 同居の家族など, 本人に送信内容が容易かつ確実に伝達できるものであれば, それを使っても構いません。

② 検定料の支払い

③ 出願書類等 (8ページ) の提出 (郵送)

※出願確認票をインターネット出願システムから印刷し, 調査書等の必要書類とともに市販の角形2号封筒 (240mm×332 mm) に入れます。その封筒にインターネット出願システムから印刷した宛名ラベルを貼り, 出願書類提出期間内に本学に到着するよう「速達簡易書留」で郵送してください。なお, 持参による提出は原則認めません。

インターネット環境がない等の理由で、インターネットによる出願登録が行えない場合は、入試課まで相談してください。相談時期によっては、出願が間に合わない場合がありますので、早めの連絡をお願いします。

佐賀大学学務部入試課：0952-28-8178

●インターネット出願登録

[インターネット出願登録ページ](#)にアクセスし、ガイダンスページにて出願方法および検定料支払い方法等を確認の上、出願登録を行ってください。(本学が出願登録業務を委託した外部サイトにつながります。)

なお、出願登録期間前でも出願デモサイトから出願登録の流れを体験できますので、佐賀大学ホームページよりご利用ください。

●出願内容の確認について

- インターネット出願においては、入学検定料の支払い手続きが完了した後は選択科目、志望学部・学科等の出願内容を変更することはできません。
- 入学検定料の支払い前であれば、登録内容の変更・削除は可能です。
- 出願内容を誤りなく確認するには必要事項の入力が完了した後、入力内容の確認画面より出願確認票(確認用)を印刷します。印刷物により入力した内容に間違いがないことを確認できた後で、次の手続きに進むことを推奨します。

●受験票について

平成30年11月15日(木)までに、出願時に登録したEメールアドレスに「【佐賀大学】インターネット出願受験番号確定のご連絡メール」を送信しますので、インターネット出願システムの「申し込み一覧」よりA4用紙に受験票を印刷し、受験時に持参してください。

ただし、第1次選考を実施する場合はメールの送信が遅れる場合があります。

●入学検定料(17,000円)

インターネット出願システムより、支払い方法を確認の上、お支払いください。なお、振り込み手数料として別途640円が必要です。

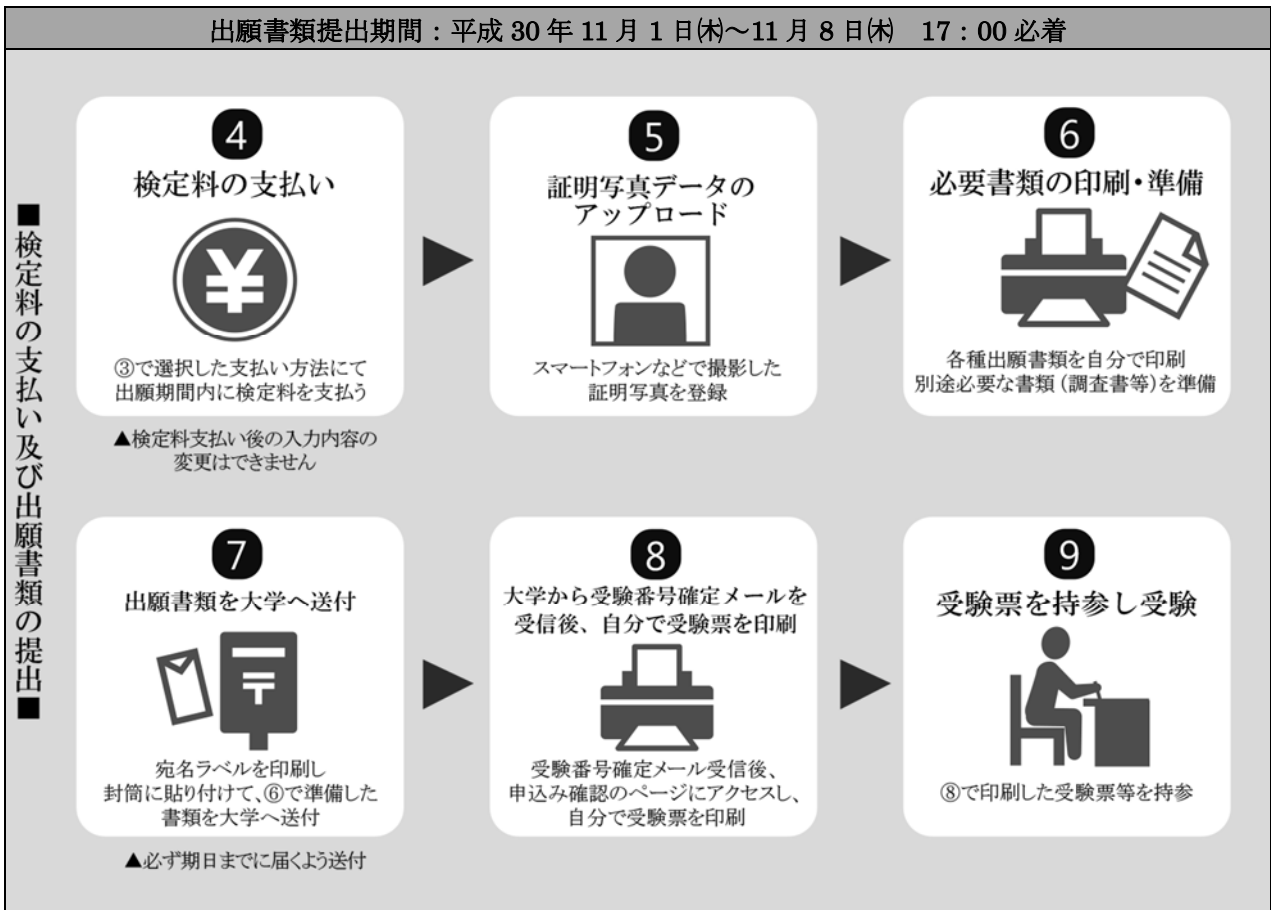
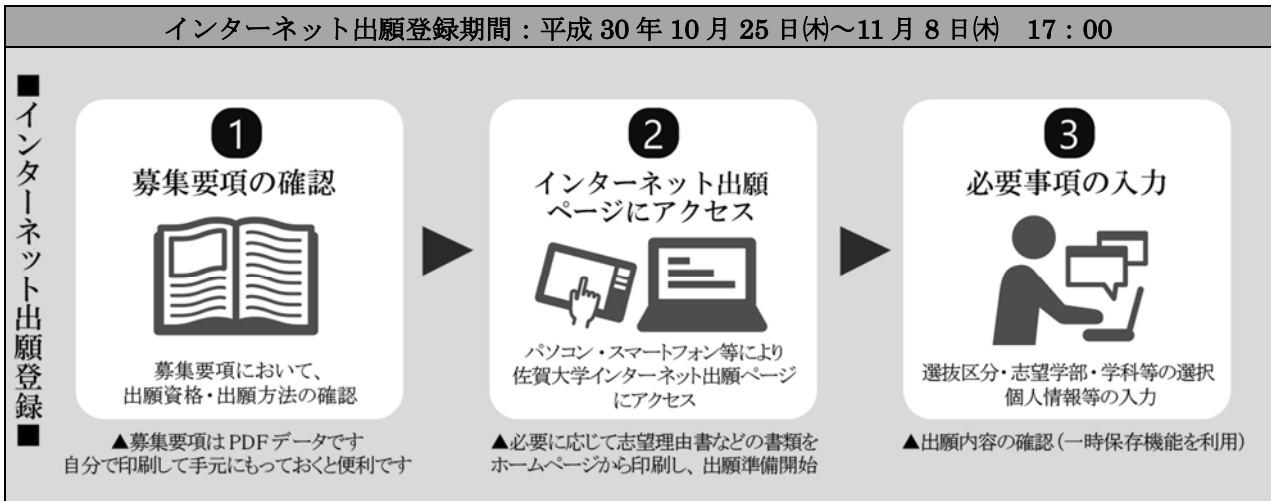
検定料の返還に関しては、次に該当する場合を除き、いかなる理由があっても既納の検定料は一切返還いたしません。

- 第1次選考の不合格者に対しては、検定料のうち13,000円を返還します。また、入試成績開示を請求された方には、成績通知手数料(400円)を返還します。第1次選考結果を通知する際に「検定料返還請求書」等を送付しますので、期日までに手続きを行ってください。
- 検定料を振り込んだが、本学に出願書類を提出しなかった場合、出願書類が受理されなかった場合、又は検定料を誤って二重に振り込んだ場合は検定料を全額返還いたします。返還請求の方法等については、入試課までお問い合わせください。

(2) 国公立大学の推薦入試(大学入試センター試験を要する場合、要しない場合を含めて)へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。

お問い合わせ先	お問い合わせ内容
志願受付操作サポート窓口 TEL:0120-752-257 (出願登録期間の9:00~20:00)	インターネット出願システムについて ・操作方法 ・入学検定料支払い方法 ・証明写真データアップロード方法 等
佐賀大学学務部入試課 TEL:0952-28-8178 (平日の9:00~17:00) e-mail: contact@mail.admin.saga-u.ac.jp	入試全般について ・出願資格 ・入試科目 ・出願書類 等

〈インターネット出願の流れ〉



●出願に必要な書類等

出願書類等		内 容	参照ページ
インターネット出願システムより登録・印刷	①出願確認票	インターネット出願システムの「申し込み一覧」より印刷し、提出してください。 ※出願確認票には、志望学部・学科、住所、氏名等登録した出願情報が記載されています。	
	②証明写真データ	インターネット出願システムの「写真の登録・確認」より上半身脱帽正面向き無背景で、直近3か月以内に撮影した100KB～5MBのjpg又はpngデータを登録してください。	
	③宛名ラベル	インターネット出願システムの「申し込み一覧」より印刷し、書類送付用の封筒（市販の角形2号（240×332 mm））に貼り付けてください。	
出願に必要な書類	④調査書	所定の様式により出身高等学校長が作成、厳封したものを提出してください。 （注：「学習成績概評」欄に㊸と標示した場合は、必ず「備考」欄にその理由を明記してください。）	9ページ
	⑤高等学校長の推薦書	本学ホームページより所定の様式をダウンロードし、出身高等学校長が作成、厳封したものを提出してください。 医学部においては、A4判2枚をA3判1枚に印刷して提出してください。	
	⑥活動実績報告書 理工学部及び農学部志願者	本学ホームページより所定の様式をダウンロードし、志願者本人が作成したものを提出してください。（作成要領参照）	15ページ
	⑦ポートフォリオ （活動実績ファイル） 芸術地域デザイン学部 志願者	志願者本人が作成したものを提出してください。（作成要領参照）	16ページ
	⑧自己推薦書 医学部看護学科志願者	本学ホームページより所定の様式をダウンロードし、志願者本人が作成したものを提出してください。	
	⑨志望理由書 経済学部志願者	本学ホームページより所定の様式をダウンロードし、志願者本人が作成したものを提出してください。（800字程度） それぞれの学科を志願する理由、入学後特にしたいことなどについて、志願者本人が自筆で作成してください。	
	⑩特色加点申請書 経済学部志願者（任意）	本学ホームページより所定の様式をダウンロードし、志願者本人が作成したものを提出してください。（作成要領参照） 提出は志願者の任意です。提出する場合は、インターネット出願システムの「個人情報の入力」、「特色加点申請欄」において、「希望する」を選択してください。	17ページ
	⑪入学検定料免除申請書類 該当者	申請を行う場合は、インターネット出願登録前に入試課までご連絡いただき、申請書類を準備の上、出願書類と併せて提出してください。	8ページ

(1) 東日本大震災又は熊本地震で被災された佐賀大学志願者への入学検定料の免除について

1. 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、次に該当する者です。

(ア) 東日本大震災における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、次のいずれかに該当する者

① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合

② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

(イ) 居住地在福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者

(ウ) 熊本地震における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、次のいずれかに該当する者

- ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
- ② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合

2. 申請方法

申請予定者は、電話による事前審査を行いますので、インターネット出願を行う前に入試課へ連絡してください。

3. 申請書類

(ア) 「入学検定料免除申請書」

本学ホームページ「受験生の方へ > 募集要項等ダウンロード」からダウンロードできます。

(イ) 「り災証明書 (写し可)」 (上記1. (ア)の①又は(ウ)の①に該当する者)

(ウ) 「死亡又は行方不明を証明する書類」 (上記1. (ア)の②又は(ウ)の②に該当する者)

(エ) 「被災証明書 (写し可)」 (上記1. (イ)に該当する者)

(2) 調査書の提出について

廃校・被災その他の事情により出身高等学校長の調査書が得られない場合は、卒業証明書、成績通信簿その他志願者が提出できる書類をもって代えることができます。また、志願者が被災等により上記書類も整えられない場合は、出身学校所管の教育委員会、知事又は出身学校長が作成したこれに関する証明書を提出してください。

9 入試方法, 配点等

(1) 入試方法

高等学校長からの推薦に基づき、提出された調査書、小論文及び面接等の結果を総合して決定します。

[試験内容]

学部等		大学入試 センター試験	小論文	面接	実技 検査	その他
教 育 学 部		×	○	○	×	基礎学力試験 (外国語) (注)
芸 術 地 域 デ ザ イ ン 学 部 有 田 セ ラ ミ ッ ク 分 野		×	×	○ (口頭試問を含む)	○	×
経 済 学 部		×	○	○ (口頭試問を含む)	×	×
医 学 部 看 護 学 科		×	○	○	×	×
理 工 学 部		×	○	○ (口頭試問を含む)	×	基礎学力・ 学習力テスト [次頁参照]
農 生 物 資 源 学 部 食 料 科 学 科	生 物 科 学 コ ー ス	×	○	○	×	基礎学力・ 学習力テスト [次頁参照]
	食 資 源 環 境 科 学 コ ー ス 生 命 機 能 科 学 コ ー ス	×	○	○ (口頭試問を含む)	×	

(注) 基礎学力試験 (外国語) を課します。コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱから出題します。

[基礎学力・学習力テスト]

基礎学力・学習力テストでは、タブレット端末を利用して、志望分野又はコースに必要な基礎学力・学習力を測ります。科目は次の通りです。

		学部，学科等	試験科目
基礎学力・ 学習力テスト	理工学部 理工学科	情報分野	数学
		化学分野	数学，化学
		機械工学分野	数学，物理
		電気電子工学分野 都市工学分野	
	農学部 生物資源科学科	生物科学コース	化学，生物
		食資源環境科学コース	数学，英語
		生命機能科学コース	化学

- ・試験は、タブレット端末（以下「端末」）を受験者に各1台配付し、端末で問題を読んで端末に解答します。計算用紙は配付します。
- ・試験は冒頭約30分で端末の操作説明，動作確認を行います。
- ・解答時間は60分です。
- ・受験者は解答が終わったところで端末の「解答確定」ボタンをタップします。
- ・解答は自動で採点され，採点結果が端末に表示されます。解答に間違いがなければ試験は終了します。
- ・間違えた問題があれば，その問題の解説と類似問題が提示され，再チャレンジ問題を解答することができます。
- ・基礎学力・学習力テストでは，遅刻者の試験室への入室限度が他の試験時間と異なります。試験開始時刻（9：15）までに入室していない場合は受験することができないので十分注意してください。
- ・基礎学力・学習力テストの試験概要を本学ホームページ [「受験者の方へ」](#) > [佐賀大学版CBT](#) に掲載しますので，確認してください。

[実技検査]

芸術地域デザイン学部 有田セラミック分野	<p>(1) 出願時に下記の①，②のいずれかの実技検査を選択します。</p> <p>① 静物着彩 試験時間：3時間 用紙：水彩用紙（B3）</p> <p>② 粘土による造形表現（試験時に手びねり又はロクロ成形から選択） 試験時間：3時間</p> <p>(2) 持参道具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静物着彩 鉛筆，消しゴム，鉛筆削り，水彩絵具（透明水彩に限ります。），筆，筆洗，筆ふき，パレット等，静物着彩に必要な描画道具一式。水彩用紙（B3），イーゼルは大学で用意します。 ・粘土による造形表現 作業がしやすく，汚れてもよい服及びタオルを持参してください。粘土ベラ等粘土造形に必要な道具は大学で用意しますが，持参してもかまいません。また，ロクロ成形による表現を行う場合も，その道具を持参してかまいません。
-------------------------	---

[配点]

区分 学部, 学科等		書類審査 (調査書, 推薦書等)	小論文	面接	実技 検査	その他	総合得点 (総合評価)	特色 加点
教 育 学 部		100	100	100		100 (注1)	400	
芸 術 地 域 デ ザ イ ン 学 部		300		300	400		1000	
経 済 学 部	経 済 学 科	商業系の科・ 情報系の科・ 総合学科推薦 普通科又はこ れに準ずると 本学部が認め る科推薦	2 段階 評 価 (合, 否)	100	2 段階 評 価 (合, 否)		2 段階 評 価 (合, 否) (注2)	40
	経 営 学 科							20
	経 済 学 科							
	経 営 学 科							
経 済 法 学 科								
医 学 部	看 護 学 科	150	200	150			500	
理 工 学 部 科	情 報 分 野	3 段階 評 価	3 段階 評 価	4 段階 評 価		3 段階 評 価 (注3)	5 段階 評 価	
	化 学 分 野							
	機 械 工 学 分 野							
	電 気 電 子 工 学 分 野							
	都 市 工 学 分 野							
農 生 物 資 源 学 部 科	生 物 科 学 コ ー ス	100	100	100		200 (注3)	500	
	食 資 源 環 境 科 学 コ ー ス	100	200	200		100 (注3)	600	
	生 命 機 能 科 学 コ ー ス	150	200	200		50 (注3)	600	

(注1) 基礎学力試験 (外国語)

(注2) 特色加点の得点を加味して評価します。

(注3) 基礎学力・学習力テスト

(2) 特色加点について

「特色加点」とは、志願者の高等学校入学以降の主体的な活動や実績を評価することを目的とした佐賀大学の新しい制度です。書類審査、小論文及び面接等の合計点 (以下、「当初配点」という。) とは別に、志願者のこれまでの主体的な活動や実績をアドミッション・ポリシーに応じて加点します。活動・実績の取り組み状況、志望学科との関係性及び各資料の内容等を評価します。志願者の申請を原則とし、申請がなければ当初配点のみで合否判定を行います。これまでに志願者が取り組んできた様々な活動や実績等が申請対象となります。申請書は志願者本人が作成してください。

(i) 商業系の科等推薦における評価対象

「簿記」「情報」「英語」「商業経済」の4分野に関する資格・検定について、その難易度に応じて評価します。

(ii) 普通科等推薦における評価対象

校内外を問わず、高等学校在学中に主体的に取り組んだ活動や実績について申請してください。校内活動としては、体育系・文化系の部活動、生徒会活動、課題研究（探究型学習）など、校外活動としては、社会活動（ボランティア、地域活動）、海外留学、スポーツ活動、文化・芸術活動、検定・資格取得、課題研究（探究型学習）などが該当します。なお、「課題研究（探究型学習）」に関する活動とは、校内外を問わず、高等学校在学中に取り組んだ課題研究（探究型学習）に関する活動です。高等学校の総合的な学習の時間等での課題研究（探究型学習）といった校内活動、大学（本学または他大学）による高校生対象の課題研究（探究型学習）や、国・地方公共団体・企業・大学等が実施する課題研究型コンテストへの出場（ビジネスプランコンテスト、まちづくりプランコンテスト、社会科学系の論文コンテスト等）といった校外活動が該当します。

(3) 第1次選考について

芸術地域デザイン学部は、入学志願者が募集人員の約4倍を超えた場合には、書類（調査書、推薦書及びポートフォリオ）により、第1次選考を行う場合があります。第1次選考の実施の有無については、本学ホームページでお知らせします。

なお、第1次選考を実施した場合は、合格者には「【佐賀大学】インターネット出願 受験番号確定のご連絡メール」を送信します。不合格者には「不合格通知」及び「検定料返還請求書」を郵送します。

(4) 採点・評価基準

学部、学科	小論文等	採点・評価基準
教育学部	小論文	出題されたテーマに対して、テーマの解釈、構成、論理の展開、視点の独自性、表現能力を見ます。
	面接	勉学意欲、特別支援教育への興味・関心等を見ます。
	調査書等	学業成績、修学状況、部活動、社会活動等を見ます。
	基礎学力試験 (外国語)	高等学校の教科書程度の内容が十分理解できているかを、基礎的な問題によって評価します。
芸術地域デザイン学部	面接	芸術表現を通じて地域社会を考え発想力、コミュニケーション能力等を有しているかを採点・評価基準とします。 加えて、当該分野に関する口頭試問によって基礎的知識や制作活動の経験を把握し、当該分野に関する意欲の高さを評価します。
	実技検査	自らの手による表現力、発想力など当該分野にかかわる基本的な能力を有しているかを採点・評価基準とします。 静物着彩では、基礎的な造形力に加え水彩絵具による表現力などを総合的に評価します。 粘土による造形表現（ロクロ成形による表現を含む）では、基礎的な造形力と表現力などを総合的に評価します。
	調査書・ポートフォリオ等	調査書では「各教科、科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等を本コースのアドミッション・ポリシーに照らし評価します。 また、推薦書とポートフォリオでは、活動実績と当該分野に対する意欲を本コースのアドミッション・ポリシーに照らし評価します。
経済学部	小論文	資料を提示のうえ、それについての読解力、着眼力、思考力、文章表現力等を基準として評価します。
	面接	高校生活の活動状況及び将来の学修意欲等について口頭試問します。
	調査書等	学習状況、クラブ活動等をみます。
	特色加点	アドミッション・ポリシーに応じて、これまでの活動・実績を評価します。

学部, 学科		小論文等	採点・評価基準
医学部 看護学科	小論文	資料を提示のうえ、論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる能力を評価します。	
	面接	医学部志望の動機, 学習意欲, 積極性, 生命や医療に対する倫理観, チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について, 対話・口述を通して評価し, 将来優れた看護職者になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。	
	調査書等	単に学業成績優秀というのみでなく, 規則的な生活習慣を保ち, 学習意欲, 積極性や協調性に富んでいるかを高等学校3年間の行動記録である調査書及び高等学校長の推薦書により評価します。志願者本人による自己推薦書も同様に取り扱います。 なお, 調査書等については面接にあたっては参考とします。	
理工学部	調査書等	調査書では, 「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について, 出願要件および理工学科の「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。 活動実績報告書では, 申請された活動実績の内容について, 「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」, 「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して, 本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の観点から評価します。	
	小論文	出題されたテーマについて, 考察力, 論理的思考力, 表現力及び記述力を見ます。	
	面接	自己の目標や志望分野に対する意欲等について評価します。 また, 口頭試問によって志望分野での学びに必要な応用力等について評価します。	
	基礎学力・学習力テスト	志望分野に必要な基礎学力・学習力を評価します。	
農学部	調査書等	調査書では, 「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について, 出願資格および生物資源科学科の「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。 活動実績報告書では, 申請された活動実績の内容について, 「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」, 「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して, 本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の観点から評価します。	
	小論文	出題されたテーマについて, 考察力, 論理的思考力, 表現力及び記述力を見ます。	
	面接	自己の目標や志望コースに対する意欲等について, 評価します。 また, 食資源環境科学コース, 生命機能科学コースでは志望コースに関する口頭試問によって基礎的知識を評価します。	
	基礎学力・学習力テスト	志望コースに必要な基礎学力・学習力を評価します。	

(5) 合否判定基準

学部, 学科		内 容
教 育 学 部		書類（調査書及び推薦書），小論文，基礎学力試験，面接の各成績評価を総合して，合格者を決定します。
芸術地域デザイン学部		書類（調査書，推薦書及びポートフォリオ），面接及び実技検査の各成績評価を総合して，合格者を決定します。
経 済 学 部		書類（調査書，推薦書等），小論文及び面接等の成績を総合して判定します。
医学部	看護学科	小論文，面接，高等学校長の推薦書，調査書等を総合して合格者を決定します。なお，面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。
理 工 学 部		書類（調査書，推薦書，活動実績報告書等），小論文，面接及び基礎学力・学習力テストの各成績評価を総合して，合格者を決定します。
農 学 部		書類（調査書，推薦書，活動実績報告書等），小論文，面接及び基礎学力・学習力テストの各成績評価を総合して，合格者を決定します。

10 試験日時，試験内容及び試験場

学部等	試験日	試験時間	試験内容	試験場
教 育 学 部	平成30年 11月30日(金)	9:30～11:00	小論文	教育学部 (本庄キャンパス)
		11:20～12:30	基礎学力試験(外国語)	
		13:30～	面接	
芸術地域デザイン学部 有田セラミック分野		9:30～12:30	実技検査	芸術地域 デザイン学部 (本庄キャンパス)
		13:30～16:30	面接	
経 済 学 部		10:00～11:30	小論文	経済学部 (本庄キャンパス)
		12:30～	面接	
理 工 学 部		9:15～10:45	基礎学力・学習力テスト	理工学部 (本庄キャンパス)
		11:15～12:45	小論文	
	14:00～	面接		
農 学 部	9:15～10:45	基礎学力・学習力テスト	農 学 部 (本庄キャンパス)	
	11:15～12:45	小論文		
	13:30～	面接		
医 学 部	平成30年 12月1日(土)	9:30～11:00	小論文	医学部 (鍋島キャンパス)
		12:30～	面接	

11 受験にあたっての主な注意事項

- 出願期間終了後，出願時に登録したEメールアドレスに「【佐賀大学】インターネット出願 受験番号確定のご連絡メール」を送信しますので，インターネット出願システムの「申し込み一覧」よりA4用紙に受験票を印刷し，受験時に持参してください。
- 「【佐賀大学】インターネット出願 受験番号確定のご連絡メール」受信後，本学ホームページの「[受験生の方へ > 推薦入試](#)」に集合場所等を記した「受験案内」を掲載しますので，指定された時間，場所に集合してください。

- (3) 試験室では受験番号と机上の番号が一致するように着席し、受験票を机上の右上に置いてください。机の上には、受験票、筆記用具、眼鏡及び時計（計時機能だけのもの）以外のものは置かないでください。その他の荷物は監督者の指示に従い、机の下の足元又は横に置いてください。
- (4) スマートフォンや携帯電話、腕時計型端末等の電子機器類を持参した場合は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。
- (5) 試験時間中、トイレを申し出たい者及び気分が悪くなった者等は、手を挙げて監督者の指示を受けてください。
- (6) 受験票を忘れたとき又は紛失したときは、直ちに試験場本部に申し出て指示を受けてください。
- (7) 弁当及び飲み物は、各自持参してください。
- (8) 受験できなくなった場合は、試験日の前日までに入試課まで連絡してください。
- (9) 試験開始後30分以上遅刻した者は入室できません。ただし、「基礎学力・学習力テスト（理工学部・農学部の一部で実施）」では、遅刻者の試験室への入室限度が他の試験時間と異なります。試験開始時刻（9：15）までに入室していない場合は受験することができないので十分注意してください。なお、いずれの試験も試験途中での退室は認めません。
- (10) 面接では、受付から解散までの所要時間が多少長くなることもあるので、その心づもりでいてください。
- (11) 芸術地域デザイン学部の実技検査は、昼食休憩1時間を含め試験途中での退室は認めておりません。このため、弁当購入や外食ができませんので、必ず昼食を持参してください。
なお、昼食場所は別途準備しています。
スマートフォンや携帯電話等の電子機器類については、休憩時間内を含めてその使用を禁止しますので試験終了までお預かりします。

12 活動実績報告書、ポートフォリオ及び特色加点申請書の作成要領

(1) 活動実績報告書の作成要領について

「活動実績」とは、志願者の志望分野に関する高等学校在学中の研究活動等の実績、外部の英語検定試験の成績、留学経験、大会・コンクール等の実績です。

以下の要領に基づき所定の様式に記入してください。活動実績の報告書は1件のみ提出できます。本学ホームページ「[受験生の方へ > 推薦入試](#)」から様式をダウンロードして使用してください。ただし、様式の変更は認めません。

記入要領

- 志望分野及び氏名を記入してください。
- 実績・活動は以下を参照の上、記入してください。

[1] 区分

実績、活動及びその他のうち、該当するものにチェックしてください。

(実績) 受賞、表彰、資格、検定、記事掲載など実際に得られた功績または成績

(活動) 実績には該当しないが、自己アピールできる主体的な活動

(その他) 実績、活動のいずれにも該当しないもの

[2] 実績又は活動等の名称

実績又は活動等について記入してください。

(実績) 全国大会○○賞受賞、○○の取り組みが○○新聞に掲載など

(活動) ○○ボランティア活動のリーダー、海外語学研修への参加など

[3] 実績又は活動等の主催・認定・授与・発行等の機関等の名称

該当する機関名を記入してください。

(実績) ○○連盟、○○協会など

(活動) NPO 法人○○○○、○○自治体、○○高等学校など

[4] 実績取得年月又は活動期間

該当する年月又は期間を記入してください。

(実績) 実績が得られた年月○年○月

(活動) 活動期間○年○月～○年○月

- [5] 実績又は活動を証明する資料の有無
コンクール入選や資格取得等を証明する資料や、新聞、雑誌等に掲載された記事がある場合は「あり」にチェックし、その写しを提出してください。なお、提出の際は、資料ごとに出典や発行年月日等を記入してください。
- [6] 実績又は活動等の内容
報告する実績又は活動等について、規模、参加資格、入賞条件など客観的に評価できる情報を可能な限り記入してください。
- [7] 実績又は活動等の形態
グループ等で実施した場合は、「グループ等」にチェックし、報告者がグループの中でどのような役割を果たしたのかについて、具体的に記入してください。リーダーとしての役割を果たした場合は、その役割（肩書）が明示された資料も提出してください。個人で実施した場合は、「個人」にチェックしてください。
- [8] アドミッション・ポリシーとの関連性
申請する実績・活動を通して身につけた能力・スキルや経験などが、大学入学後の学習や活動に、どのように生かせるかなどについて、アドミッション・ポリシーを踏まえて記入してください。

<活動実績報告書の提出イメージ>



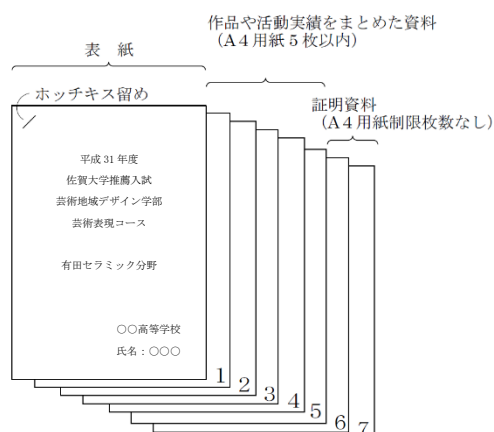
- 用紙サイズはA4とします。
- 証明資料は片面印刷で、2枚までとします。
証明資料の上に活動実績報告書を重ね、左上をホッチキスで留めて提出してください。
- 証明資料の右下に通し番号を付してください。

(2) ポートフォリオ（活動実績ファイル）の作成要領について

以下の要領に基づき所定の様式に記入してください。

- 志願者自身が制作した作品や活動実績について、A4用紙片面5枚以内にまとめてください（内容は自由です）。作品や活動実績はいくつ収録しても構いません。
- 活動実績は本人のクラブ活動実績や生徒会活動実績、地域での学外活動を含みます。
- 収録する作品には、作品名、サイズ、素材、制作時期を記入し、共同制作の場合は、制作の過程において志願者自身が担当した内容を記入してください。
- 展覧会、コンクール等に入選したことを裏付ける資料や、新聞、雑誌等に掲載された記事がある場合は、証明資料として、その写しを添付してください（出典、発行年月等を記載してください。）。ただし、収録する作品や活動実績に関係ない情報は収録しないでください。証明資料に制限枚数はありません。
- ポートフォリオには、「平成31年度佐賀大学推薦入試芸術地域デザイン学部芸術表現コース有田セラミック分野」というタイトルとともに、高等学校名、氏名を記載した表紙を付してください。表紙は、5枚の制限枚数には含まれません。
- 提出されたポートフォリオは、返却いたしません。

<ポートフォリオ提出イメージ>



(提出に関する注意点)

- ・証明資料がある場合は、作品や活動実績をまとめた資料の後に添付してください。
- ・各資料の右下に通し番号を付してください。
- ・左上をホッチキスで留めて提出してください。

(3) 特色加点申請書の作成要領について

以下の要領に基づき所定の様式に記入してください。様式は、本学ホームページ「[受験生の方へ > 推薦入試](#)」からダウンロードして使用してください。ただし、様式の改変は認めません。

記入要領（商業系の科等推薦）

- ・申請できる資格・検定の数に制限はありません。
- ・各分野において取得した資格・検定の名称を記入してください。既に記載されてあるものについては、記入の必要はありません。
- ・「級・合格」の欄には取得した「級」を記入してください。級の無いものは「合格」としてください。
- ・取得した年月日を記入してください。
- ・実施機関等の名称を記入してください。既に記載されてあるものについては、記入の必要はありません。
- ・記入した資格又は検定について、合格通知書等の写し（A4）を併せて提出してください。

記入要領（普通科等推薦）

- ・申請できる活動や実績は1件に限ります。
- ・活動や実績は以下を参照の上、記入してください。
 - [1] 活動や実績等の名称
例) 〇〇部活動を3年間継続、全国大会〇〇賞の受賞、〇〇の取り組みが〇〇新聞に掲載、〇〇ボランティアのリーダーとして活動、海外語学研修への参加、〇〇資格の取得。
 - [2] 活動や実績等の主催、認定、授与、発行等の機関等の名称
該当する機関名を記入してください。
(活動) NPO 法人〇〇〇〇, 〇〇自治体, 〇〇高等学校など
(実績) 〇〇連盟, 〇〇協会など
 - [3] 活動期間又は実績取得年月
該当する年月又は期間を記入してください。
(活動) 活動期間 〇年〇月～〇年〇月
(実績) 実績が得られた年月 〇年〇月
 - [4] 活動や実績等を証明する資料及び参考資料等の有無
コンクール入選や資格取得等を証明する資料や、新聞、雑誌等に掲載された記事、活動や実績の内容を示す参考資料等がある場合は「あり」にチェックし、その写し（A4）を提出してください。なお、提出の際は、資料ごとに出典や発行年月日等を記入してください。
 - [5] 活動や実績等の概要
申請する活動又は実績等の概要について、具体的に記入してください（規模、参加資格、入賞条件、課題研究の成果など客観的に評価できる情報などがあれば可能な限り記入してください）。グループ等で実施した場合は、「グループ等」にチェックし、申請者がグループの中でどのような役割を果たしたのか、具体的に記入してください。個人で実施した場合は、「個人」にチェックしてください。

[6] アドミッション・ポリシーとの関連性

申請内容がアドミッション・ポリシーと関係がある場合は、「あり」にチェックし、どのように関係しているのかを具体的に記入してください（例えば、申請する実績・活動を通して身に付けた能力・スキルや経験などが、大学入学後の学習や活動に、どのように生かせるかについてなど）。関連性がない場合は、「なし」にチェックしてください。

<特色加点申請書の提出イメージ>

商業系の科等推薦



普通科等推薦



- ・用紙サイズはA4とします。
- ・証明資料は片面印刷で2枚までとします。特色加点申請書に証明資料を添付し、左上をホッチキスで留めて提出してください。ただし商業系の科等推薦又は課題研究（探究型学習）の成果などの参考資料（写し）を提出する場合は枚数を問いません。
- ・証明資料の右下に通し番号を付してください。
- ・提出書類は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

13 合格者の発表

- (1) 合格者の発表は、本学「入試課（佐賀市本庄町1番地）」前に合格者の受験番号を掲示するほか、本学所定の合格通知書をもって通知します。
 なお、推薦した高等学校長に対しては合否を通知します。
 また、合格者発表日の10時30分頃から本学ホームページでも確認できます。
- (2) 日時：平成30年12月10日（月）10時
- (3) 電話による合否に関する問い合わせには一切応じかねますのでご了承ください。

14 入学後のコース・分野及び配属時期

学部	学科	コース・分野		配属の時期
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科	芸術表現コース	有田セラミック分野	2年次から出願時に選択した分野に配属されます。
理工学部	理工学科	情報分野	知能情報システム工学コース	2年次からそれぞれのコースに配属されます。
			情報ネットワーク工学コース	
		化学分野	生命化学コース	入学時に入学時に選択したコースに配属されます。
応用化学コース				

学部	学科	コース・分野		配属の時期
理工学部	理工学科	機械工学分野	機械エネルギー工学コース	2年次からそれぞれのコースに配属されます。
			メカニカルデザインコース	
		電気電子工学分野	電気エネルギー工学コース	
			電子デバイス工学コース	
		都市工学分野	都市基盤工学コース	
			建築環境デザインコース	
農学部	生物資源科学科	生物科学コース		2年次からそれぞれのコースに配属されます。
		食資源環境科学コース		
		生命機能科学コース		

15 入学手続

(1) 入学手続の内容

下記(2)の入学手続期間内において、次に掲げる関係書類の提出及び入学料の納入を完了してください。

① 入学手続関係書類

本学所定の誓約書及び学生カード（合格者に対し、合格通知書と同時に郵送します。）、写真（2枚）

② 入学料

282,000円（入学手続時に納入してください。）

※この金額は、平成30年4月現在のものです。

(2) 入学手続期間

入学手続書類は、平成31年1月21日（月）から1月24日（木）17時までに必着するように発送してください。

(留意事項)

① 入学時に入学料の改定が行われた場合には、改定後の入学料を納入していただくことになります。

なお、合格通知書送付の際、納入方法を含め、改めてお知らせします。

② 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

③ 下記「入学料免除の申請対象者」のいずれかに該当する特別な事情により入学料の納入が著しく困難であると認められる場合、定められた資格・基準等に基づき書類選考を行い、入学料の全額又は半額免除及び徴収を猶予する制度があります。申請方法等については、学生生活課（0952-28-8486）にお問い合わせください。

入学料免除の申請対象者

- ・入学前1年以内に学資負担者が死亡した方
- ・入学前1年以内に本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた方

(3) 入学辞退について

推薦入試の合格者は、本学へ入学しなければなりません。ただし、特別な事情により入学を辞退する必要が生じた場合には、合格者を推薦した高等学校長から、平成31年1月24日（木）までに辞退の理由を付した「推薦入試入学辞退理由書」（様式任意）を入試課に提出し、本学の許可を得なければなりません。

本学の許可を得ないまま、国公立大学の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりません。

また、入学手続時に入学料免除・徴収猶予の申請をした者で、入学を辞退する場合は入学料の全額を納入してください。

(4) 入学準備学習について

理工学部合格者には、合格者発表後から入学するまでの間に、次の入学準備学習をしていただきます。

・数学（数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B）のeラーニング

※eラーニングとはインターネットなどのコンピューターネットワークを通じて学習する方式です。

受講方法などは合格通知書に同封の書類をご参照ください。

16 授業料

- (1) 授業料の金額
前期分：267,900円 後期分：267,900円 [年額535,800円]
※この金額は、平成30年4月現在のものです。
- (2) 納入方法
授業料は「口座振替制度」の利用をお願いしています。
- (3) 口座振替日
前期分：2019年5月27日(月) 後期分：2019年11月27日(水)

(留意事項)

- ① 入学時又は在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料を納入していただくことになります。
- ② 下記「授業料免除の申請対象者」のいずれかに該当する場合、定められた資格・基準等に基づき書類選考を行い、授業料（半期分）の全額又は半額を免除する制度があります。申請方法等については、学生生活課（0952-28-8486）にお問い合わせいただくか、本学ホームページをご確認ください。
(<http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/kezai.html>)

授業料免除の申請対象者

- ・経済的理由（各種ローンや負債等の返済を除く）によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる方
- ・入学前1年以内に学資負担者が死亡した方、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が著しく困難と認められる方

17 佐賀大学の一般入試を志願する場合

推薦入試の不合格者で、本学の一般入試に出願する場合は、「一般入試学生募集要項」に従って、出願してください。

18 請求により本人に開示される個人情報

1. 入試成績の通知について

入試成績は、佐賀大学入学試験について、入学志願者本人からの希望に基づき、郵送により通知します。

- (1) 成績通知の内容
小論文、実技検査及び面接等を得点または段階評価で通知します。ただし、特色加点は除きます。なお、第1次選考不合格者には通知しません。
医学部看護学科は、合格者に総点を、不合格者に合格最低点との得点差をランク別に通知します。
- (2) 成績の通知時期
出願時に成績通知を希望した志願者に2019年5月1日以降に成績通知を郵送します。成績通知書が5月31日（金）までに届かない場合は、入試課に電話で問い合わせてください。なお、成績通知書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- (3) 成績通知の申込方法
成績通知を希望する志願者は、インターネット出願画面上の「入試成績の開示請求」欄の「希望する」にチェックし、成績通知手数料（400円）を検定料と併せて振り込んでください。なお、出願後に成績通知の希望の有無を変更することはできません。

2. 調査書の開示について

調査書の開示は、入学志願者本人からの希望に基づき、入試課窓口で閲覧できます。

- (1) 開示期間
5月1日（水）から5月31日（金）の午前9時～午後5時（土・日・祝日を除く。）
- (2) 開示内容
学習成績や評定平均値などの客観的事実に係る個人情報は開示しますが、主観的評価に係る情報の「指導上参考となる諸事項」、「備考欄」は開示しません。

- (3) 開示方法
希望者は、佐賀大学受験票を持参してください。
- (4) 開示場所
佐賀大学入試課

19 個人情報の取扱い

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律の施行に伴い、入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、入学者選抜に係る業務（統計処理などの付随する業務を含む）以外に、教育目的等（入学料・授業料免除、入学料徴収猶予及び奨学金等を含む）に利用します。

国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、受験者氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限り、推薦入試の合格及び入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されることをあらかじめお知らせします。

本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供する事はありません。

20 障がい等を有する志願者との事前相談

障がい等を有する志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願前に下記の内容を記載した申請書（様式は任意）を入試課に送付し相談してください。

なお、本学では、学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っています。

* 申請書の内容

志願学部・学科（コース・専攻）

障がいの種類・程度

受験上の配慮を希望する事項

修学上の配慮を希望する事項

出身学校等でとられていた配慮

日常生活の状況

連絡先（氏名、電話番号、住所、出身高校）

○相談の時期

平成30年10月5日(金)まで

なお、相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、配慮を希望される措置が講じられない場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。

また、期限後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障がい等を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

21 佐賀大学生協からのお知らせ

(1) 受験者の宿泊斡旋について

佐賀大学生協（以下、佐賀大学生協と略す）では受験者の宿泊斡旋は行いません。宿泊を必要とする場合は、次のところに照会すると便利です。

なお、この他、宿泊斡旋を行うところもあります。

(ア) JTB コンベンションサポートセンター

〒810-0072 福岡市中央区長浜1-1-35 新KBC ビル6F 電話092-751-2102

営業時間は月～金曜日の9:30～17:30（土日祝日は休み）

- (イ) 日本旅行佐賀支店
〒840-0816 佐賀市駅南本町3-7 電話0952-24-2218
営業時間は月～金曜日の9:30～17:30 (土日祝日は休み)
- (2) アパート・マンション等の紹介, 教科書教材等の資料請求について
合格者へのアパート・マンション等の紹介は, 佐賀大学生協や周辺不動産業者が行っています。受験時に資料請求案内を配布しますが, 早めの資料請求予約, 問合せは以下の方法よりお願いします。教科書, 教材等の案内も平成31年3月初旬に佐賀大学生協から送付いたします。
- (ア) インターネット出願時に資料請求する
インターネット出願システムの「個人情報入力」の「大学生協への情報提供確認」において, 「大学生協へ氏名・住所等を提供する」を選択してください。後日, 登録された住所に資料を送付いたします。
- (イ) 電話で資料請求する
佐賀大学生協までお問い合わせください。
佐賀大学生協同組合 賀市本庄町1番地佐賀大学キャンパス内
電話(代表) 0952-25-4450 月曜～金曜10:00～17:00
- (ウ) 佐賀大学生協のホームページから資料請求する
<http://kyushu.seikyou.ne.jp/scoop/> 「佐賀大学生協」で検索ください。

22 お問い合わせ先

佐賀大学学務部入試課
〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地
TEL: 0952-28-8178
e-mail: contact@mail.admin.saga-u.ac.jp

23 佐賀大学における個人ノートパソコン等の活用について

佐賀大学では、平成31年度入学生より、学生一人ひとりが個人のノートパソコン等を保有していることを前提とした教育を開始します。

目的

従来の大学では、教員が知識を伝達する講義が教育の中心でした。近年では、学生が自ら課題を発見し解決方法を開拓するアクティブラーニングと呼ばれる手法が重視されています。佐賀大学でも、授業中に学生がインターネットなどを通じて事例などを調査する、調査結果をグループで取りまとめ発表するなどアクティブラーニング手法を取り入れようとしています。また、経済や交通、人口移動などのデータを分析し、新しいサービスを開発しようとするデータサイエンスの教育にも力を入れようとしています。このような教育を進めていくうえで、パソコンのある特別な教室ではなく、普通の教室の授業で、学生一人ひとりがノートパソコン等を持ち、活用できることが必要となります。

一人ひとりのPC

上記の目的を達成するために、平成31年度入学生より、学生一人ひとりにノートパソコン等を保有していることを求めることになりました。個人のノートパソコンを利用した授業は1年生から始まります。ただし、入学時以前からノートパソコンを保有している学生に、入学時に新たなノートパソコン等を購入することを求めるものではありません。専門科目が始まる2年次以前は、文書作成や表計算などの軽微な作業が中心ですので、大学入学以前に保有しているノートパソコンや、タブレット（キーボードは必要）でも十分です。

なお、佐賀大学ではMicrosoft の包括ライセンス契約を保有しており、Office (Word, Excel, PowerPoint 他) を無償で利用することができます。また、ウィルス対策ソフトウェアについても準備します。そのため、これらのソフトウェアを事前に購入する必要はありません。入学後にインストール作業等を支援します。また、学内には無線LAN を整備しています。学生は自由に利用することができます。

新規購入する場合のノートパソコンの性能などについては、12月ごろに、佐賀大学HP 等を通じてお知らせする予定です。

本件に関する問い合わせ先
佐賀大学学務部教務課（教育企画）

TEL 0952-28-8163